

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名：創政会

報告者：近藤 久子

実施場所：北海道苫小牧市

実施日：平成 29 年 10 月 13 日・14 日

■ 目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての本市の現状 など）

「日本女性会議 2017 とまこまい」

男女平等参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワーク化を図ることを目的とした国内最大の会議へ参加。

1. 特別揮毫・講演 金澤 泰子 金澤 翔子
ちがいはかけがえのない個性～ダウン症の娘と共に生きて～
 2. 基調報告 内閣府男女共同参画局長 武川 恵子
 3. 分科会 「デートDV予防教育の実践」
 4. 記念シンポジウム
「とまこまい発 男女平等参画社会を語る」
～輝くオールとまこまい“市民・団体の力+企業の力+行政の力”～
- 以上4項目について、順を追って以下にまとめる。

■ 参考とすべき事項

1. 特別揮毫・講演 金澤 泰子 金澤 翔子
ちがいはかけがえのない個性 ～ダウン症の娘と共に生きて～
 - ① 42歳で授かった命は、知能が無く、歩くことも難しいと診断された。
「世界で一番悲しい母親だろう」と日記に書き、死の文字も。時代背景も悪く子どもを隠すように育てていた。
 - ② 4年生の時特別支援学校に転校。その頃から般若心経の大きな書に取り組み、276文字の心経を楷書で書き続け、10組3,000字の上には涙のしずくが落ちていた。苦しい時、闇の中に落ち込んでも、誠実な努力によって光が訪れた。
 - ③ すでに290回となった個展。来館者は誰もが涙を流す。科学的に証明されなくても、目に見えなくても平和・調和・愛を求めている書。世俗に対する欲望が無い書。純度の高い魂の書。「共に生きる」と題した当日の揮毫は、多くの参加者の感動を呼んだ。これまで800回以上の会場で書いてきたが、不思議と一度も雨が降ったことが無いとか。降っていても止んだ。
 - ④ 750人～1000人に一人のダウン症は染色体が1つ多い。それは不思議な優しさだと思うと母泰子さんは語った。
2. 基調報告 内閣府男女共同参画局長 武川 恵子
 - ① 現状の出生率が続けば、2065年には人口が約8,700万人と現在の3分の2の規模まで減少。
 - ② 平成24年～平成28年で、女性の就業者数は147万人増加。女性の生産年齢人口（15～64歳）は減少しているが、65歳以上の就業者が増加。
 - ③ 第1子出産後の就職継続率が40%前後から2014年では53.1%に高まっている。

- ④ 女性が職業をもつことに対する意識調査において「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と思う人が初めて50%を超えた。(平成28年9月調査)
- ⑤ 日本の国会議員に占める女性割合は先進諸外国との格差は大きい。
(2017年衆議院 日本 9.3% スウェーデン 43.6% フランス 38.8%)
世界のクオータ制の広がりとしてフランスでは、パリテ法に基づいて、県議会選挙における男女ペア立候補制度を導入。
- ⑥ 就業者に占める女性割合に比べ、管理的職業従事者に占める女性割合は国際的にみても低すぎる。
- ⑦ **日本の一番のネック**は、6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間である。
妻 3時間45分 夫 49分 5:1 の割合。 他国は 2:1
(国の第4次男女共同参画基本計画における目標は 夫2時間30分である)
 - 夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高い
 - 男女とも、結婚相手の条件として最も考慮・重視するのは「人柄」に次いで「家事・育児の能力」である。女性の場合「仕事への理解」が3番目で「経済力」は4番目。

3. 分科会 「デートDV予防教育の実践」

- ① デートDVの概念 ▶若者間で起こる暴力のこと
▶女子高校生、女子大生の3人に1人がデートDVを経験
- ② 暴力は殴る蹴るだけではない ニュースになるのは身体的暴力のごく一部のみ
精神的暴力・経済的暴力・性暴力・デジタル暴力
単独ではなく併発して起こる!
- ③ キーワードは「デジタル化」若者を取り巻く環境は変化し続けている。
大人たちがついていけない **ギャップが生じる。**
- ④ 高校生のスマホ所持率**99%**! スマホがなければ友人関係が築けない。
小・中・高合わせても67.3%。女子高生のスマホ利用時間は**1日平均5.5時間**
- ⑤ **デジタル暴力という概念** ▶インターネット上での書き込み
▶写真を使つての脅し
▶無許可で写真や動画をアップする
▶メールの即返信を強要
▶GPS系のアプリの悪用 他
- ⑥ 難しいカタカナ用語 **鍵アカ(プライベートアカウント)をスクショ(スクリーンショット)した画像がグループ(グループライン)で送られてきた。**
- ⑦ **アイメッセージ** 自分の気持ちを相手に伝える方法を知ろう
- ⑧ 若者には傷つかない、傷つけない、自分も相手も尊重できる関係性の構築が重要であり、自分を大切に出来ない人は、相手も大切に出来ない。
- ⑨ 大人たちは逃げないで、事情を知らずは耳を傾けること。

4. 記念シンポジウム

とまこまい発 男女平等参画社会を語る

～輝くオールとまこまい“市民・団体の力+企業の力+行政の力”～

① 平成 25 年 11 月道内では初めて「苫小牧市男女平等参画都市」を宣言

私たちは

- ▶互いに支え合うあたたかい地域をつくります
- ▶手をたずさえ責任を担う家庭をつくります
- ▶個性や能力を活かせる職場をつくります
- ▶平等意識を育てる教育をめざします

② 苫小牧埠頭（株）従業員 260 人

- ▶世代の多様化と社員の出身地域の多様化を図る
 - ▶IT化によって男女職域の垣根が無くなってきた パートはいない
 - ▶全員が定年まで働ける職場づくりのためにも、一人ひとりの可能性を高める
- このような取り組みをしなければ生き残れないと会社は考えている。
社員が能力を伸ばし、自己実現することは企業にとってプラスになる。

■ 提言・その他（本市の施策にどのように活用すべきか など）

1. 苫小牧市長の開会挨拶に、「**世界の中の日本の現状をまず知ることから始めよう**」とあった。本市の場合、知ろうとしなければ情報として知るチャンスが少ない事がまず課題であり、21 世紀の我が国の最重要課題として位置づけられ、長期総合計画においても、男女共同参画社会の実現は明記されているが、市民にどれだけ響いているだろうか。

今回は男女**共同参画**ではなく**一步進んだ男女平等参画**であり、今大会開催までの 777 日間の準備期間中の会議開催はトータル 165 回。

テーマ曲の 熱い思いで 切り拓こう 北の大地 苫小牧から チェンジ
市長の取り組む姿勢は勿論の事、市民・団体、企業の同一の方向性が無ければ前に進むことが難しいことがより分かった。

1999 年に制定された男女共同参画基本法の 5 つの柱を改めて確かめたい。

まず、本市のプラン推進委員会のメンバーの方には常に最新情報が伝わる仕組みづくりと、知り得た情報により、伝える力も同時に養っていただくことが、発信力につながると思う。

2. 今、日本では
 - ▶夫が妻を殺害 92 件・・・4 日に 1 件（平成 26 年 警察白書）
 - ▶子どもの虐待死 1 週間に 1 人
 - ▶性被害を受けた 10 人の内 7 人の女性は誰にも相談をしていない
 - ▶5 人に 1 人が DV を受け、その内 3 割は命の危険を感じた（2015 年）庄原市でのアンケート調査によっても DV の被害者は多かった。

デートDVから大人の DV につながることは容易に想像出来る。市内の中学・高校での研修は始まっているが、より積極的な情報の発信が必要であり、常に目に留まる箇所への掲示や、持ち帰られるパンフレットも。関係課においては総合

的な方針を打ち出すべきである。学校教育の役割は大きい。

3. 参政権もなく、自らの訴訟や商売も出来ず、両方の合意に基づかない結婚などの時代から考えれば、随分女性の地位も向上したかに思えるが、日本の慣習やしきたりは、時には文化という美しい言葉に代わって遅々として進まない実態がある。当たり前のことが、実は生きにくさを生じる原因になっていることもある。
- 神田道子 東洋大学名誉教授から 戦後の女性たちがつくった道筋を乗り越えて今があることを忘れず、更に前進するためにも、生活の基盤である地域づくりも基本とすることのご示唆をいただいた。参画力と協働力をつけ、生活している人々の組織が大きくななくても、それが連携していく仕組みづくりが大切な事も。

待っているだけじゃ 明日が来ても何も起こらない 今 ここから歩き出そう
人にばかり求めているも 自分 変わらなきゃあ 今 ここから歩き出そう
このテーマ曲が苦小牧がチェンジするパワーになる